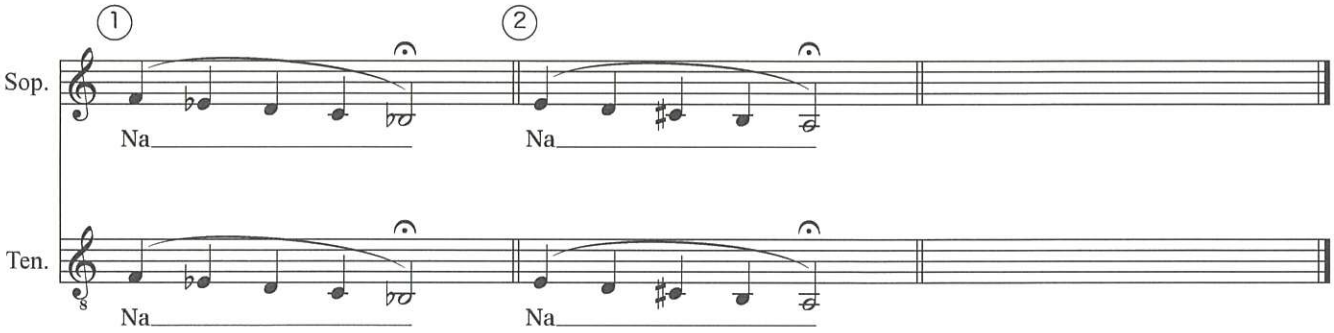
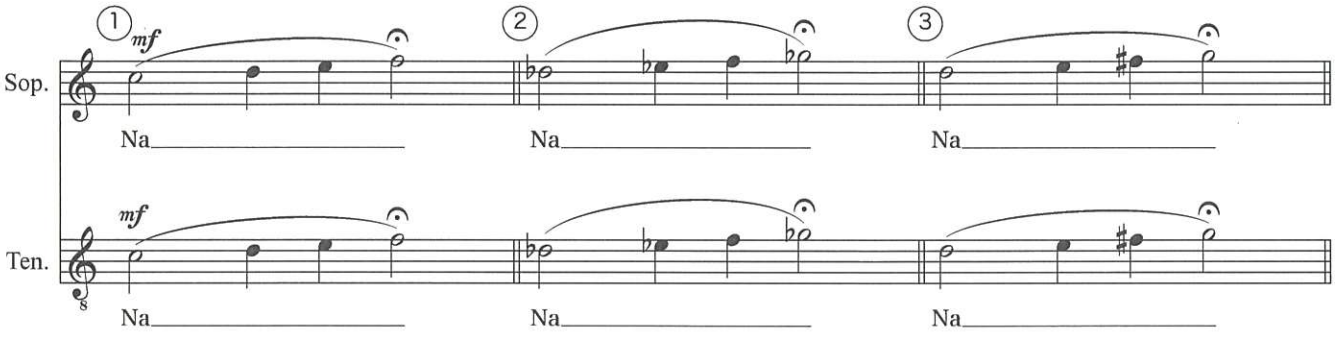
音域調査 【高声】

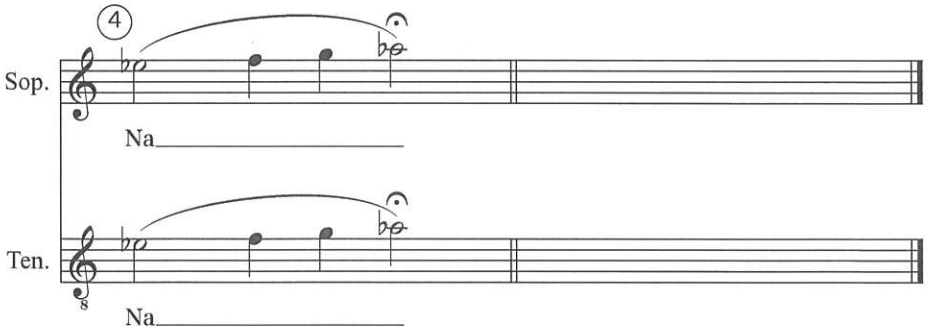
※ 低音域と高音域のそれぞれを「 Na 」で歌ってください。

（低音域）



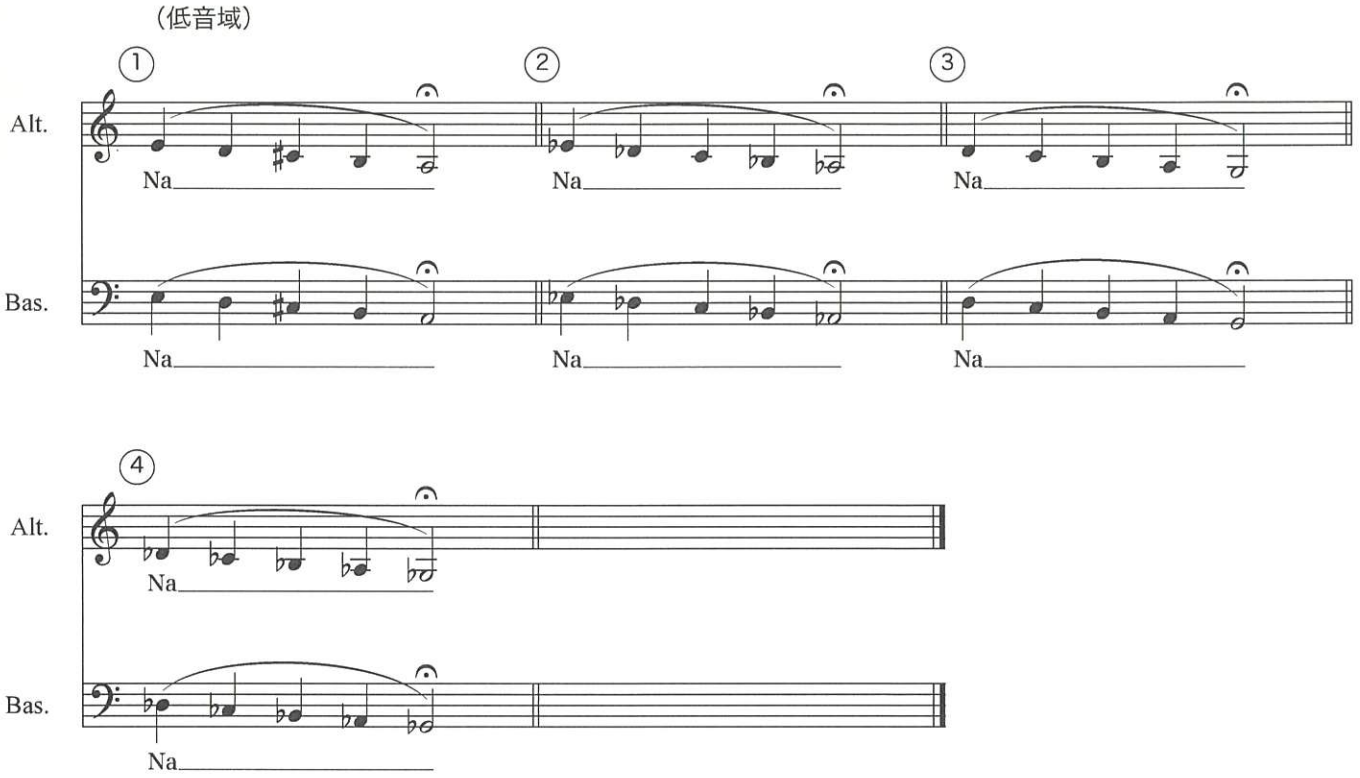
（高音域）





音域調査 【低声】
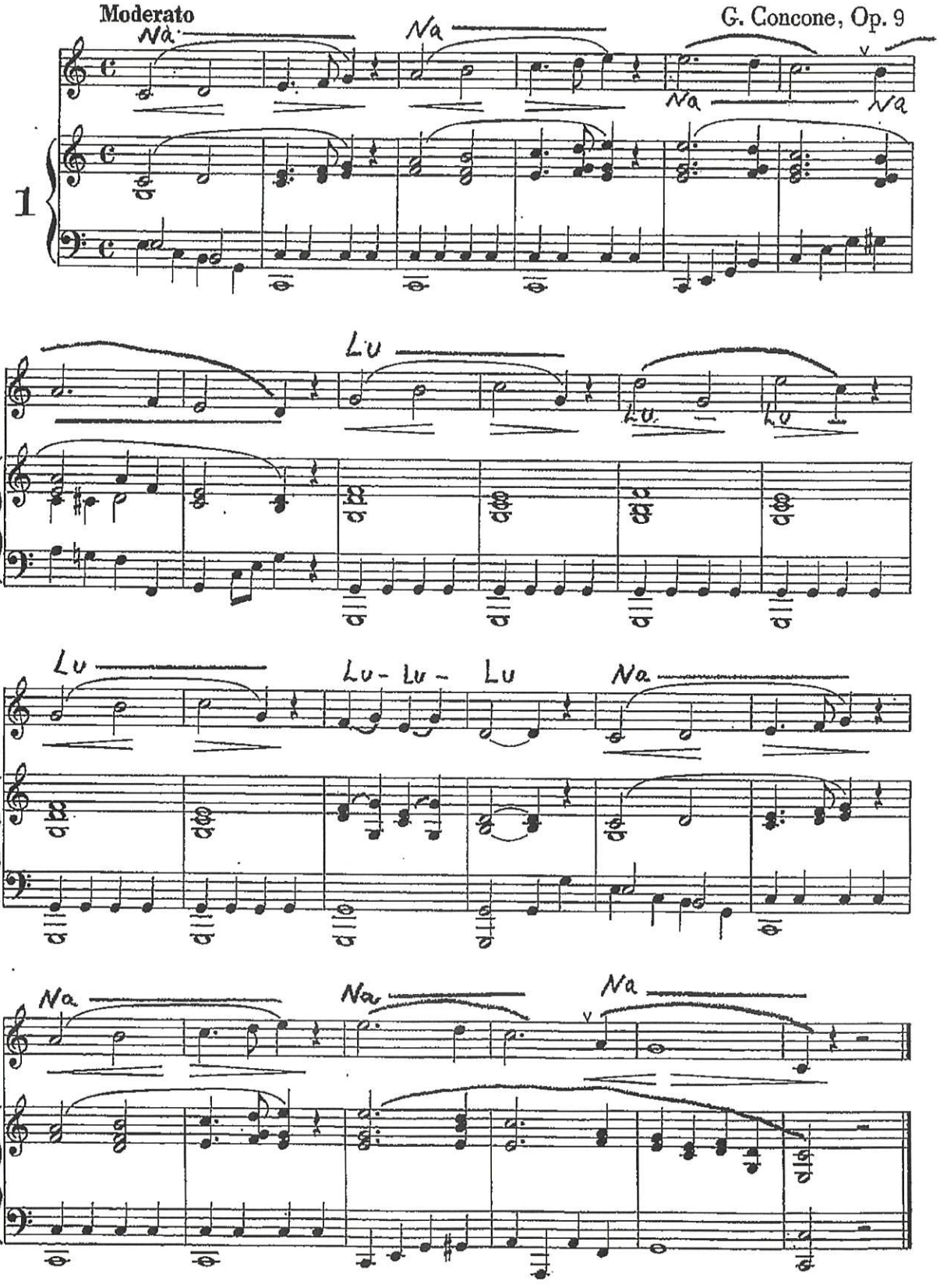
※ 低音域と高音域のそれぞれを「 Na 」で歌ってください。



②Concone

五十番練習曲
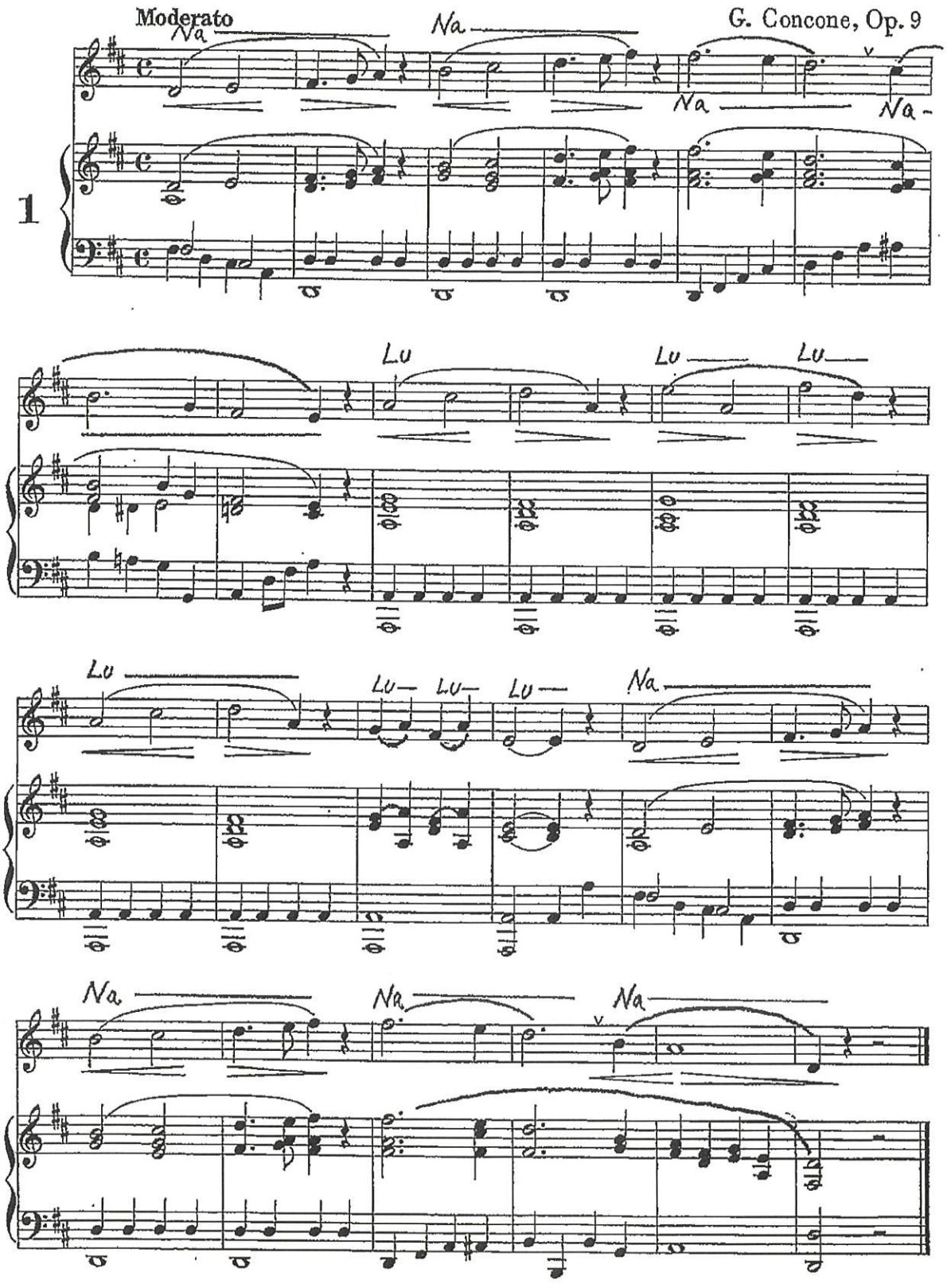
（中声用）



②Concone

五十番練習曲

(高声用)
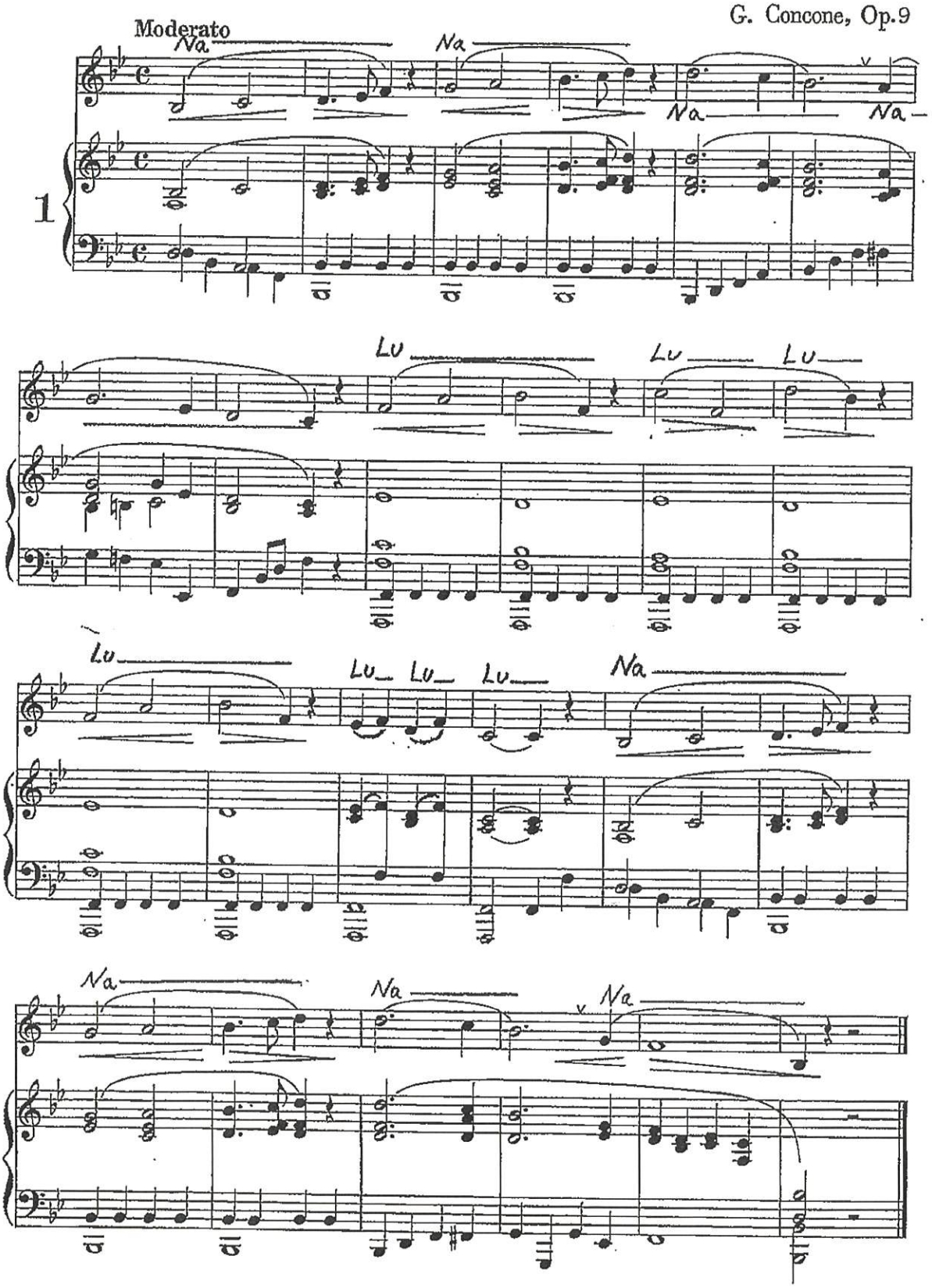


②Concone

五十番練習曲

(低声用)

G. Concone, Op.9
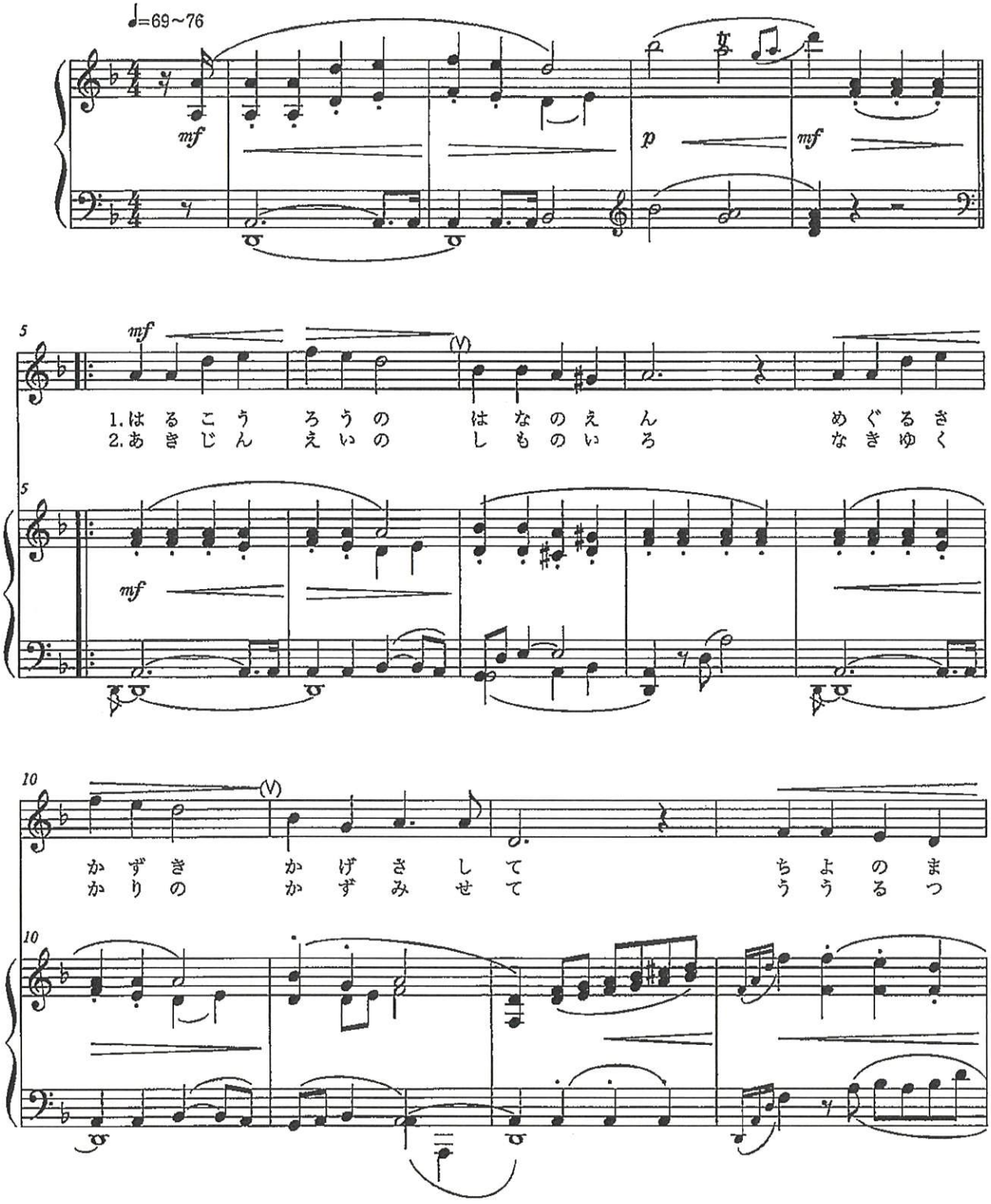


③課題曲 A
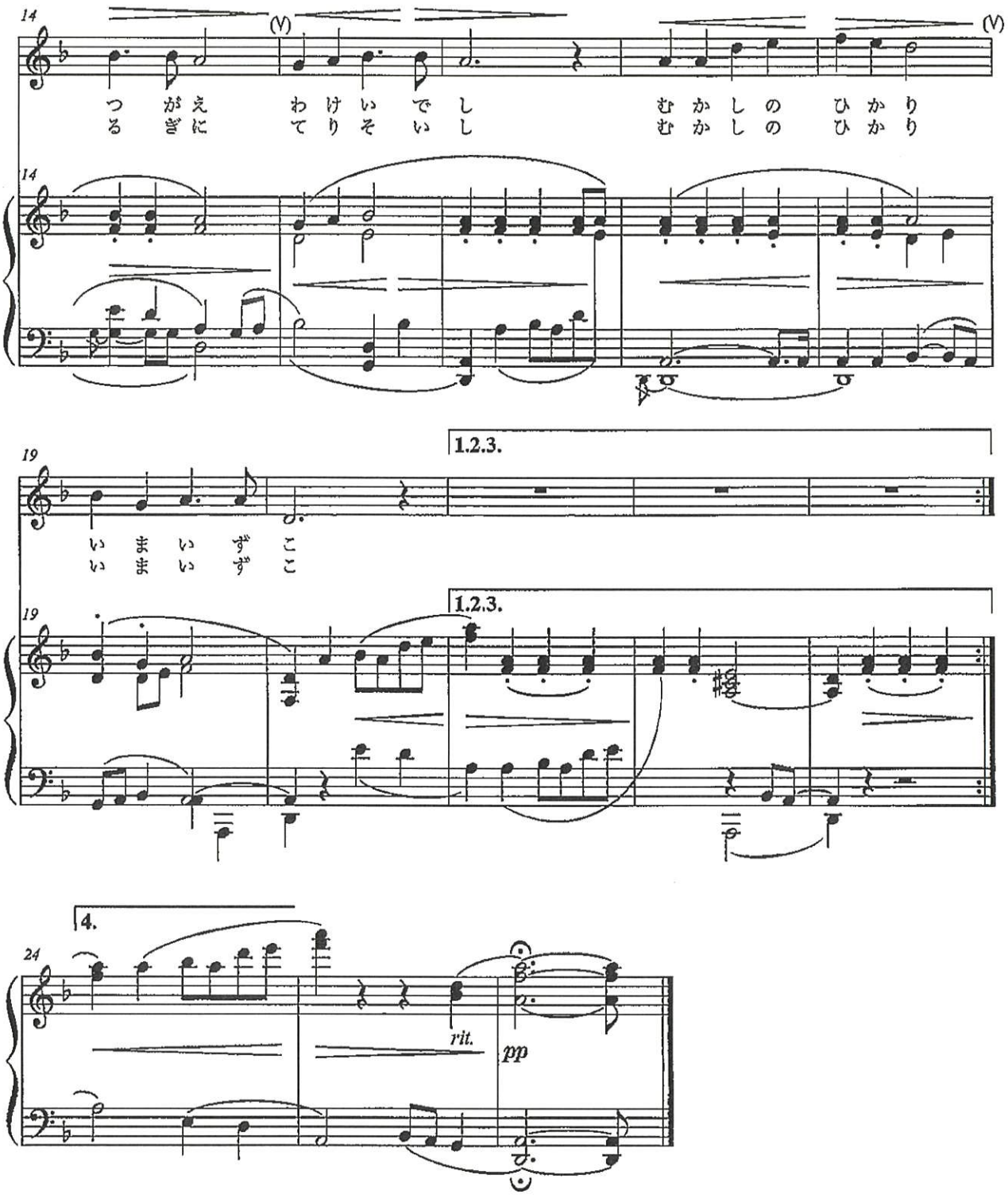
（d-moll・ニ短調）

荒城の月

（滝廉太郎原曲）

土井　晩翠　作詞
滝　廉太郎　作曲
山田　耕筰　補作編曲
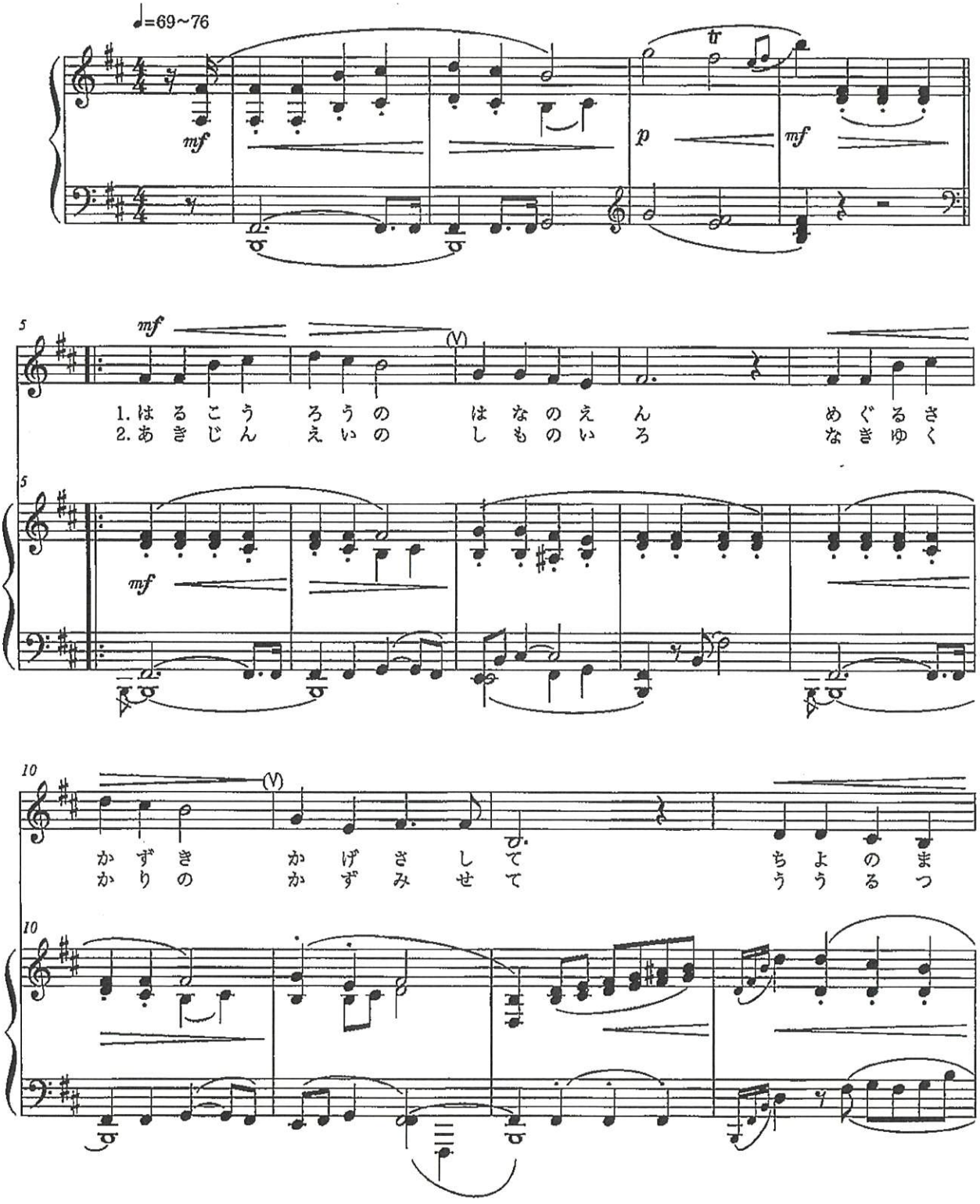



14
(V)
つ が え わ け い で し む か し の ひ か り
る ぎ に て り そ い し む か し の ひ か り
19
1.2.3.
い ま い ず こ
い ま い ず こ
4.
24
rit.
pp
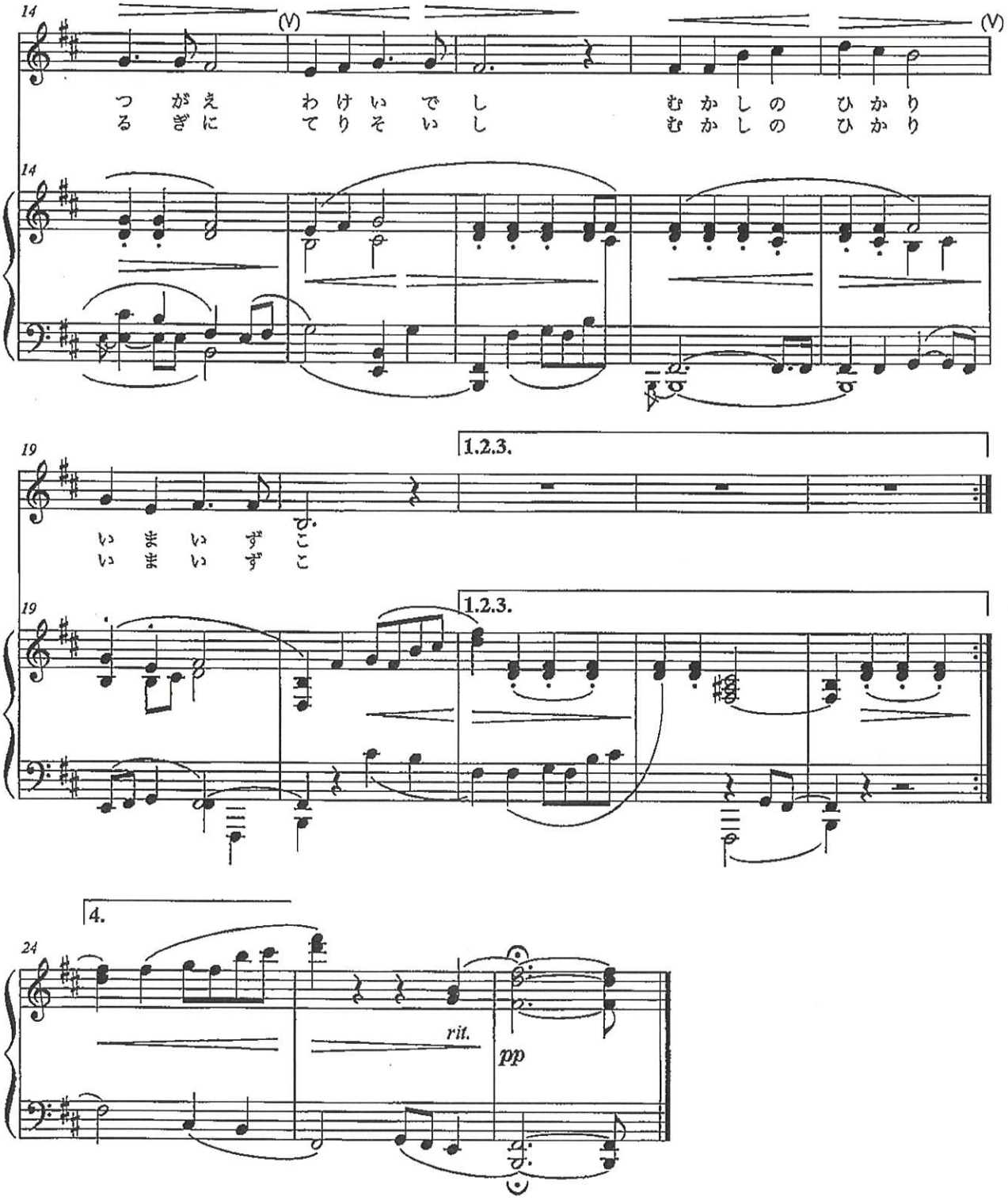
③課題曲 A

(h-moll・ロ短調)

荒城の月

土井　晩翠　作詞
滝　廉太郎　作曲
山田　耕筰　補作編曲



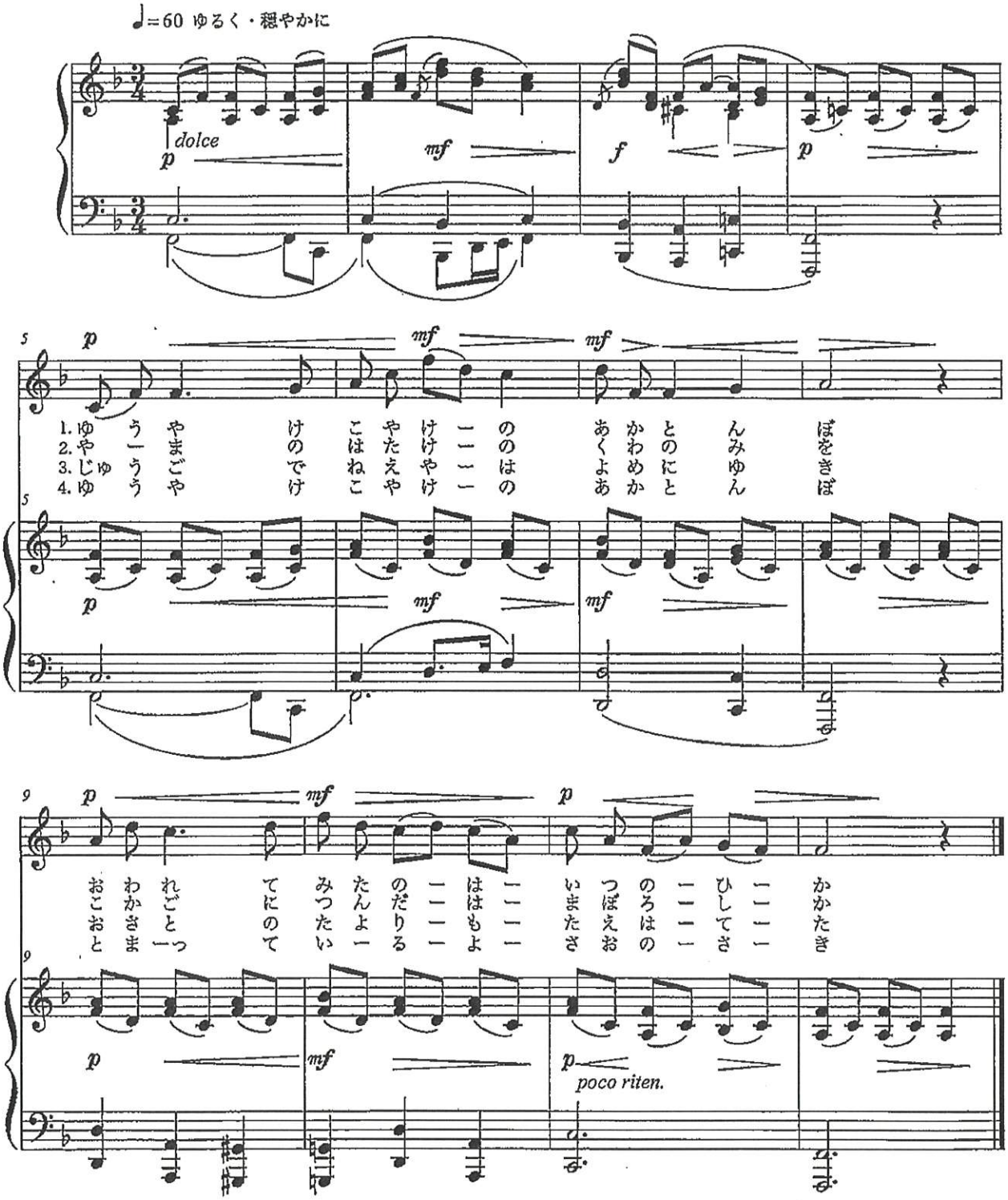

14
(V)
つ が え わ け い で し む か し の ひ か り
る ぎ に て り そ い し む か し の ひ か り
(V)
14
19
1.2.3.
い ま い ず こ こ
19
1.2.3.
4.
24
rit.
pp

③課題曲 B

(F-Dur・ヘ長調)

赤とんぼ

三木　露風　作詞
山田　耕筰　作曲
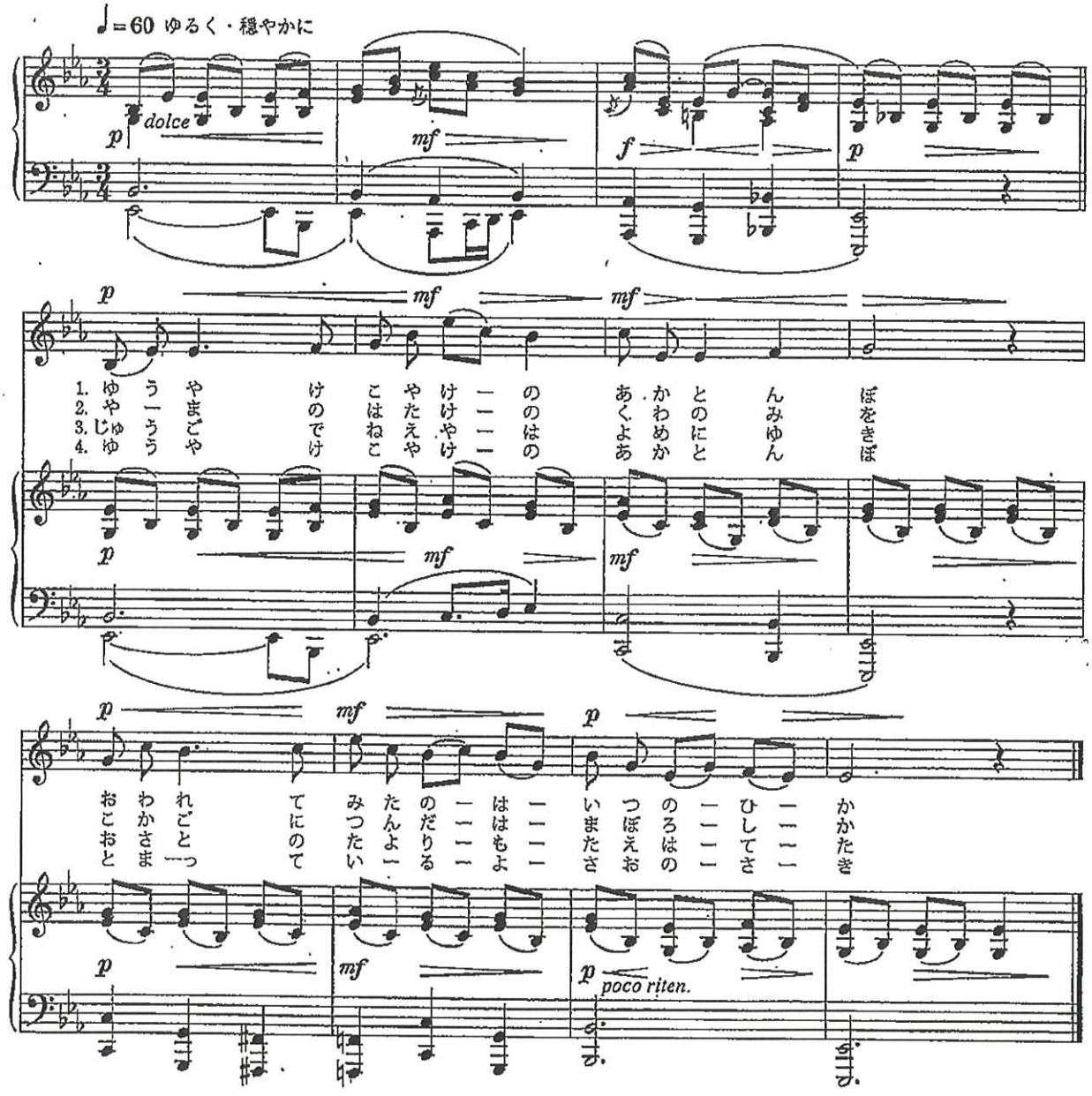


③課題曲 B

（Es-Dur・変ホ長調）

赤とんぼ

作詞：三木露風　作曲：山田耕筰☆
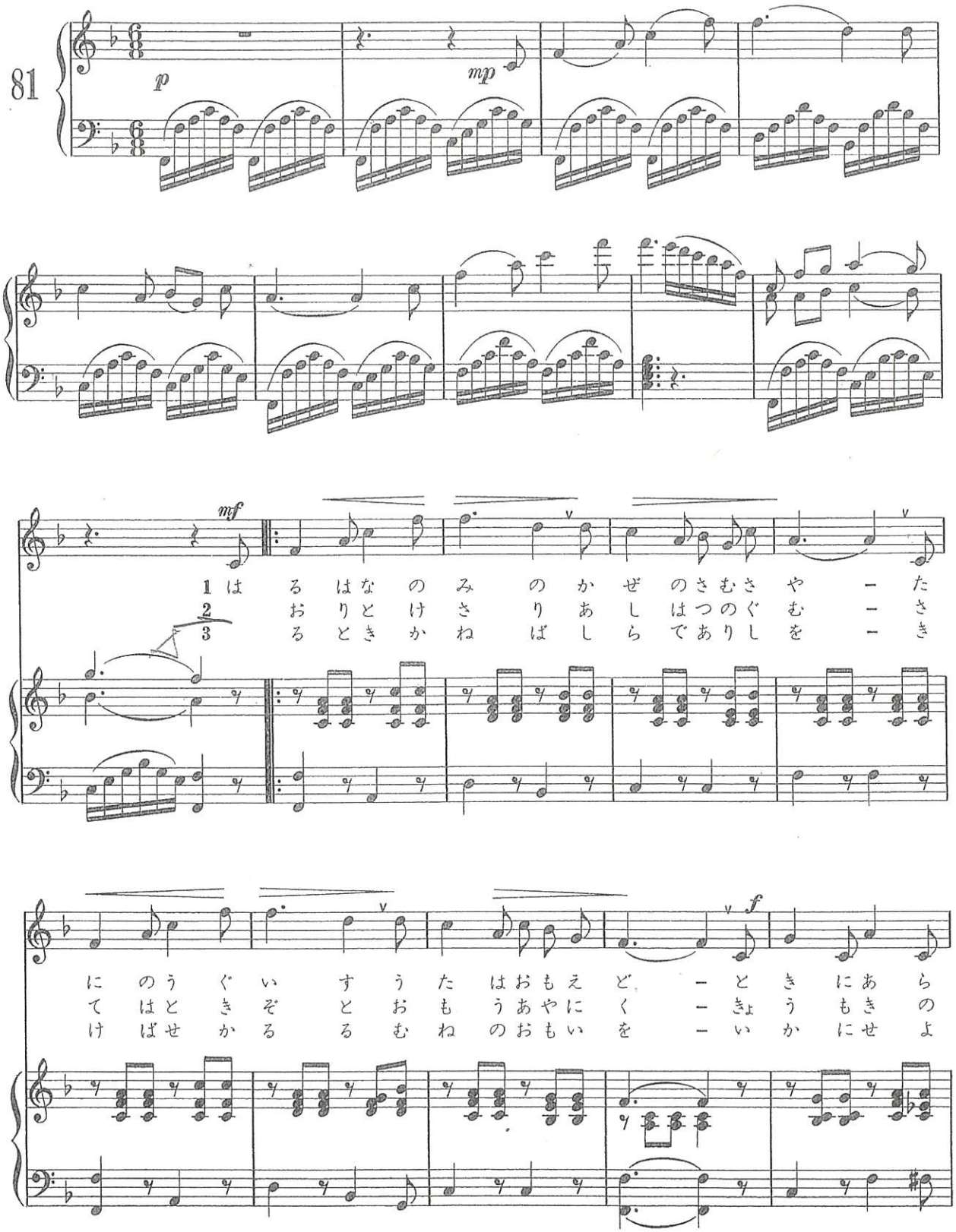


③課題曲C
（F-dur ヘ長調）
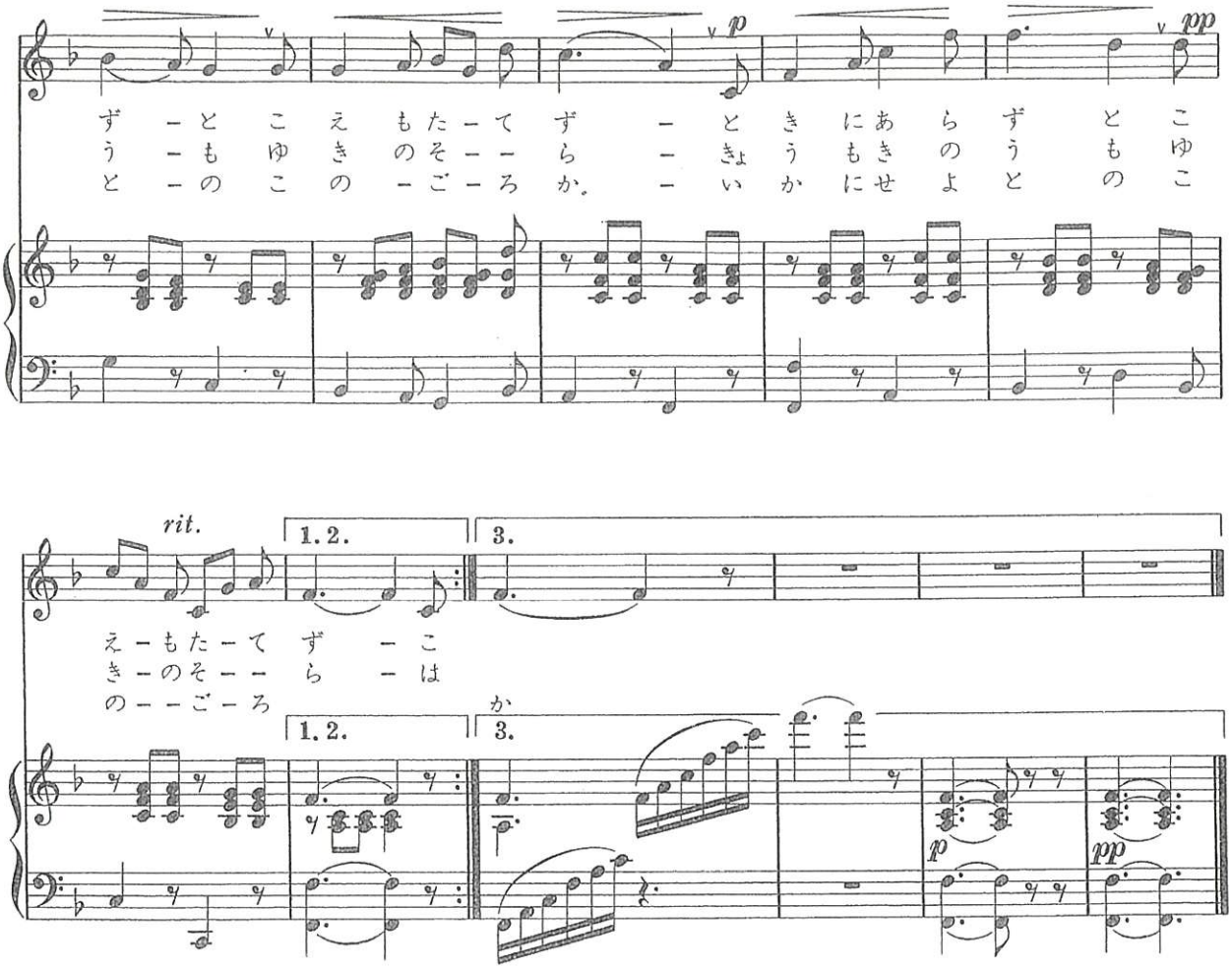
早春賦

吉丸一昌　作詞
中田　章　作曲

感情をこめて　(♪=116)



解説　吉丸一昌（1873～1916）は大分で生まれましたが、信州を好み滞在していたこともあったので、その頃の長野県安曇野あたりの雪どけ風景を詠ったものといわれています。作曲の中田章（1886～1931）は有名なパイプオルガン奏者で「夏の思い出」の作曲家中田喜直の父君でもあります。



早春賦

吉丸一昌　作詞
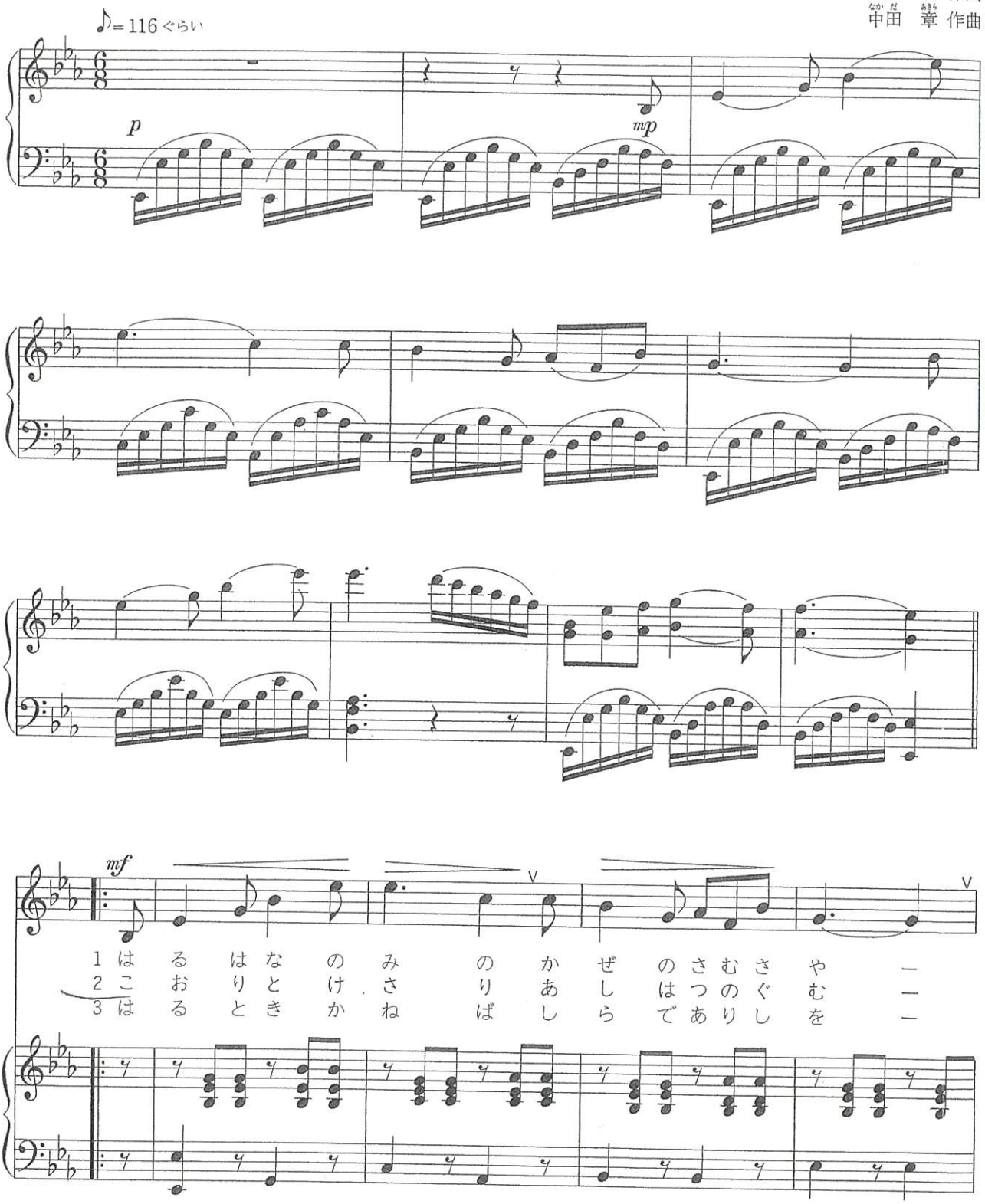
一、春は名のみの　風の寒さや
谷のうぐいす　歌は思えど
ときにあらずと　声もたてず
ときにあらずと　声もたてず

二、氷とけさり　葦(あし)は角(つの)ぐむ
さては時ぞと　思うあやにく
きょうも　きのうも　雪の空
きょうも　きのうも　雪の空
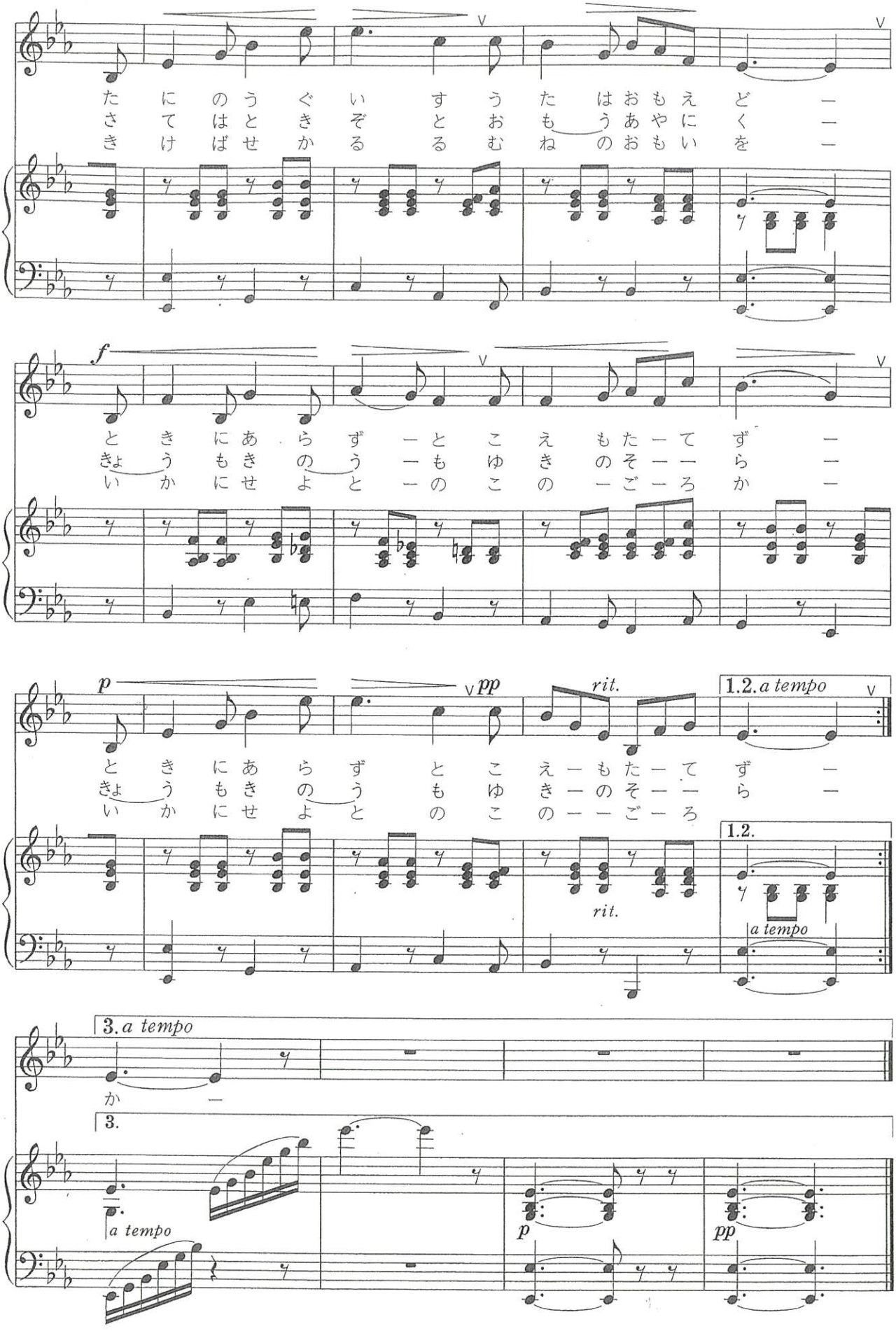
早春賦（そうしゅんふ）

③課題曲C
（Es-dur 変ホ長調）

吉丸一昌（よしまるかずまさ） 作詞
中田 章（なかだ あきら） 作曲



活動のポイント ◆詩情を味わい，心をこめて歌おう。
◆旋律（せんりつ）の流れを生かし，響（ひび）きのある声で，美しく歌おう。


たにのうぐいすうたはおもえどー
さてはときぞとおもうあやにくー
きけばせかるるむねのおもいをー
f
ときにあらずーとこえもたーてずー
きょうもきのうーもゆきのそーらー
いかにせよとーのこのーごーろかー
p
pp
rit.
1.2.a tempo
ときにあらずとこえーもたーてずー
きょうもきのうともゆきーのそーらー
いかにせよとのこのーーごーろ
1.2.
rit.
a tempo
3.a tempo
か ー
3.
a tempo
p
pp